

当市における人口の将来展望について

- ・人口の将来展望について、小樽市人口対策会議ならびに小樽市人口対策庁内検討会議において検討した結果、計画人口については記載しないという結論になっていたもの。
- ・その後、平成 27 年度第 3 回定例会の総務常任委員会において、新風小樽の安齋委員から、総合戦略策定の目的は人口対策につき、将来人口を明記すべきとの意見があった。
- ・本年 8 月末現在における当市の人口は 123,491 人、仮に年 2,000 人程度の減少が続くとすると、最短で 10 年後に 10 万人を下回る可能性があることから、人口 10 万人の維持こそが喫緊の課題である。



35 年後（2060 年）の計画人口は記載しないものの、人口 10 万人を下回る時期を遅らせるという視点を加え、かつ当市における人口の将来展望との整合性を図れないか？

⇒ 小樽市人口ビジョンにおける人口の将来展望を踏まえ、計画期間内での取組の効果により、2030 年時点で人口 10 万人を維持します。

※下記グラフでいえば、真ん中の線【想定 1：合計特殊出生率（中）×移動率（高）】と上の線【想定 2：移動率（中）+（2020 年から 5 年毎に 1% 上昇）】のちょうど中間にあたり、将来展望のシミュレーション結果と整合する。

